

平成22年度 化学工学会インターンシップ成果報告

氏名	橋本吉晃		
所属	東北大学大学院	学科 学年	工学研究科化学工学専攻 博士課程前期一年
研修先企業	花王株式会社	部署	加工・プロセス開発研究所 第2研究室
研修場所	和歌山工場		
研修テーマ	アロマケミカルの合成と精製に関する研究		
研修期間	平成22年8月23日～9月3日 12日間		

応募経緯とその目的

応募経緯

花王・・・最も身近な「化学製品」を製造
 研究室の先輩が花王株式会社インターンに参加
 →楽しかった、充実していたと聞き、興味
 化工学会インターンシップに花王株式会社を発見

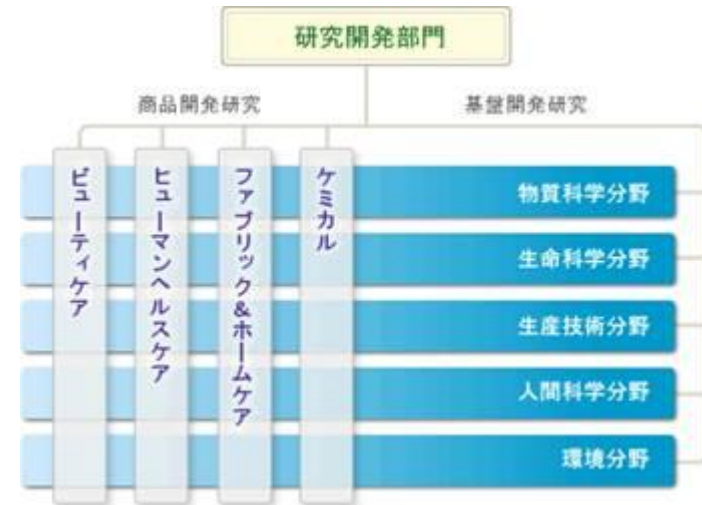


アタックNeo
 (出典:花王株式会社ホームページ)

参加を決意

目的

- ・化学工学の役割を理解したい
- ・製品製造を目的とした研究開発を体感したい
- ・花王株式会社のマトリクス構造での研究体勢を体感したい

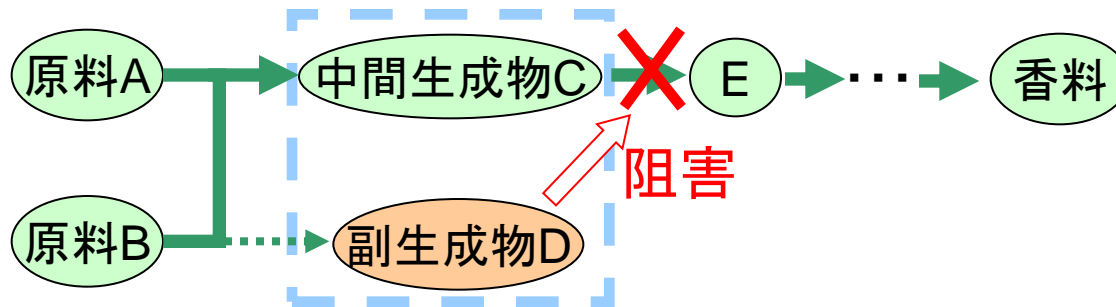


花王株式会社研究開発体制
 (出典:花王株式会社ホームページ)

研修概要 (アロマケミカルの合成と精製に関する研究)

目的: 香料の製造過程で発生した収率低下の改善

製品製造プロセス

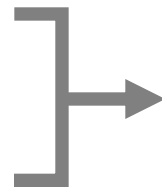


副生成物Dと中間生成物Cを
蒸留分離したい

具体的な取り組み

CとDの蒸留分離実験
(ラボスケール)

CとDの2成分系
気液平衡測定



計算シミュレーションによる蒸留操作の
スケールアップを検討



インターン中の様子

製品開発の問題解決プロセスを実際に体験

研修で得たもの

研修テーマを通して得たもの

- ・製品(最終目的)を見越したものづくり
→高いモチベーションでの研究
- ・化学工学を用いた製造プロセス
→「製造と研究の架け橋」という実感

社会人(仮)としての体験で得たもの

- ・企業と大学の違い
→合理性・経済性・安全第一
一日が高濃度で、その分短い実働時間 (ex. 残業するならその分稼ぐ)
安全第一が最も効率的
- ・企業で働くということ
→多くの人、モノと連動しているため、慎重・責任感のある行動が大事
- ・花王株式会社の雰囲気
→親切な方が多く、和気藹々とした雰囲気の研究生活
ex. 話しやすい社員の方々、部活が盛ん、フランクな飲み会



加工プロセス研究所の方々

研修の感想

- ・社会人の大変さを実感
- ・社員の方との話から、仕事のやりがい・リフレッシュの方法を聞いた
→社会で働く自分の具体的なイメージが形成
- ・インターン生との出会い

仕事後は毎日インターン生と一緒に夕食など
土日は皆で遊びに！

意識の高さや考え方の違い
→感化・大きな視野
＝人間として成長



ほぼ全員で行った
花火大会(30人くらい)



最終日にインターン生で開いたお疲れ会

楽しく、充実した毎日・・・参加したことに満足！

後輩への紹介

これからの研究生生活:もちろん研究が中心(本分)
→それだけだとどうしても狭い世界になりがち

+αで色々なことに挑戦

インターンシップ=学生でもあり、社会人でもある経験
・・・おそらく人生で一度

- ・高い意識をもった魅力的な方々との出会い
・・・企業の方、インターン生
- ・学生でしかできないこと
- ・社会に出るためにやりたいこと

体感

後輩への紹介

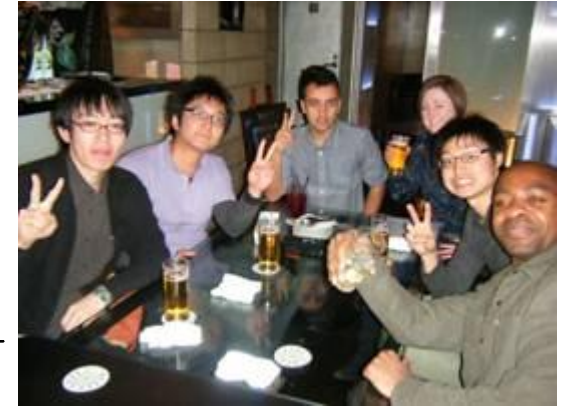
私の場合

・感じたこと

産業界全体の海外志向

高いコミュニケーション能力が必須
特に、どんな人にも物怖じしない度胸
積極性を身に付ける必要性

学生の間課題を見つける、将来何をしたいか考える
場となった！！



言語交流サークルに参加
→役員として活動

- ・学生でしかできないこと
- ・社会に出るためにやりたいこと

研究生生活をどう送ろうか悩んでる人・・・是非、インターンシップに！！

最後に・・・

化工学会インターンシップへの要望

- ・もう少し情報が欲しかった
前年のインターン生の報告書を読みたかった・・・
- ・アフターフォロー
別の企業に行ったインターン生同士の繋がりがあれば
更に良い経験になるのでは

最後に・・・

学生時代は後先考えず飛び込める最後

インターンシップももちろん、論文投稿、学会発表、海外旅行
・・・色々なことにアグレッシブに挑戦してください！！